

## 第1回〈まち探検隊〉

- ・日時 00年03月24日 14時から
- ・参加者 酒井、隅野、駿河、谷平、中尾、松下
- ・主な目的 老松町通りの歩道整備状況  
曾根崎通り(国道1号)の修景整備、地下街  
北新地の無電柱化の可能性  
毎日新聞社跡地再開発ビルと人の流れ
- ・参考資料  
参考資料をご覧になるには、まちづくりトップページの「参考資料」クリックして、開いたページの一覧から、必要なものをクリックしてください。
  - 1-1 コース図
  - 1-2 「老松通りの環境整備について」(第21回日本道路会議論文集)より
  - 1-3 古地図 (1887年、1924年、1996年の周辺地図)
  - 1-4 日経新聞記事 (豊かさ、新デザイン、御堂筋ルネッサンスなど)
  - 1-5 パンフレット〈曾根崎通り〉〈桜橋駐車場〉

### ・主な議題

「老松通り」: 古くからの天満宮の西からの参道であり、いわゆる門前町である。

お土産屋が、骨董商や画廊に転じたらしい、魅力的なまちである。計画段階から、地元と施行者が十分な調整を行い、大変意欲的に整備された様子が窺える。しかし、現状を見る限りでは、投資効果が十分に発揮されているようには思えない。原因は、電柱や電線が輻輳し、そのせいで街路灯もわずらわしい存在になってしまっている。「トータルデザイン」という意識が、無かったのではないか?などの議論があった。

### 老松通り



「曾根崎通り」：矢張り、歩道や街路灯のデザインが、「おおさかのまち」のイメージにどこかそぐわないのではとか、地下街の換気塔が、御堂筋突き当りのそれと比べ、お粗末且つ貧弱すぎるのではとの意見も出た。

## 曾根崎通り



- 見つけたキーワード：計画者と沿道住民の接点、トータルデザインの問題

